

お客様各位

平成 28 年 9 月 20 日
北興化学工業株式会社

農薬登録情報

平素より弊社製品をご愛顧賜り、厚く御礼申し上げます。

此の度、平成 28 年 9 月 16 日付で下記農薬の適用が拡大登録されましたので、お知らせ致します。

記

農薬名

第 20304 号 *ダイアジノン粒剤10* (登録会社 日本化薬株式会社)

適用拡大の内容

- ・ 作物名「あずき」及び「豆類（種実、ただし、だいず、あずき、いんげんまめ、らっかせいを除く）」、適用病害虫名「タネバエ」を追加し、全体を別紙 1 のとおりとする。
- ・ 使用上の注意事項に以下の(2)項を追加し、全体を別紙 2 のとおりとする。
(2) 使用薬量は全面処理の場合の薬量であるので、作条処理の場合は処理面積に応じて薬量を減ずること。

別紙1

作物名	適用病害虫名	使用量 (/10a)	使用時期	本剤の 使用回数	使用方法	ダイアジノンを含む農薬の総使用回数
あずき	タネバエ	3 kg	は種時	1回	作条土壤混和	4回以内(種子粉衣は1回以内、は種時の処理は1回以内、生育期の処理は3回以内)
いんげんまめ						3回以内(種子粉衣は1回以内、粒剤は2回以内)
豆類(種実、ただし、だいず、あずき、いんげんまめ、らっかせいを除く)						4回以内(種子粉衣は1回以内、粒剤は3回以内)
だいず	フタスジヒメハムシ	1.5~3 kg	収穫 30 日前まで	4回以内	無人ヘリコプターによる散布	6回以内(種子粉衣は 1 回以内、粒剤は5回以内(生育期の処理は4回以内))
	マダシクイガ				散布	
	ネキリムシ類	3 kg		5回以内	土壤表面散布	
えだまめ	タネバエ	3~5 kg	は種時	1回	作条土壤混和	2回以内 (は種時及びは種前の土壤混和は合計1回以内)
ほうれんそう						
だいこん はつかだいこん	ネキリムシ類	3 kg	収穫 21 日前まで	2回以内	土壤表面散布	2回以内(生育期は1回以内)
はくさい			全面土壤混和	1回		
キャベツ	タネバエ	5 kg	定植時		1回	全面土壤混和又は作条土壤混和
レタス	ネキリムシ類	土壤表面散布				
ねぎ、わけぎ、あさつき	タネバエ	3 kg	は種時	2回以内	作条土壤混和	2回以内 (は種前及びは種時は合計1回以内、生育期は1回以内)
たまねぎ	タマネギバエ		定植時			
にんじん	ネキリムシ類		は種時及び生育期ただし収穫 90 日前まで	2回以内	土壤表面散布	
カリフラワー ブロッコリー		収穫 30 日前まで	2回以内(粒剤の生育期の処理は1回以内)			
芝	シバツトガ ケラ		発生初期	4回以内	散布	4回以内

使用上の注意事項

- (1) 使用量に合わせ秤量し、使い切ること。
- (2) 使用薬量は全面処理の場合の薬量であるので、作条処理の場合は処理面積に応じて薬量を減ずること。
- (3) 本剤を無人ヘリコプターによる散布に使用する場合はさらに次の注意を守ること。
 - ① 散布は各散布機種 of 散布基準に従って実施すること。
 - ② 散布にあたっては散布機種に適合した散布装置を使用すること。
 - ③ 事前に薬剤の物理性に合わせて散布装置のメタリング開度を調整すること。
 - ④ 水源地、飲料用水、養殖池等に本剤が飛散流入しないよう十分注意すること。
 - ⑤ 散布終了後は次の項目を守ること。
 - a) 使用後の空袋は放置せず安全な場所に廃棄すること。
 - b) 使用残りの薬剤は必ず安全な場所に責任者を決めて保管すること。
 - c) 機体の散布装置は十分洗浄し、薬剤タンクの洗浄廃液は、河川等に流さないこと。
- (4) ミツバチに対して影響があるので、以下のことに注意すること。
 - ① ミツバチの巣箱及びその周辺にかからないようにすること。
 - ② 関係機関（都道府県の農薬指導部局や地域の農業団体等）に対して、周辺で養蜂が行われているかを確認し、養蜂が行われている場合は、関係機関へ農薬使用に係る情報を提供し、ミツバチの危害防止に努めること。
- (5) ビニールハウス等の同一施設内において、収穫期が異なる作物を栽培している場合、本剤を土壌表面散布で使用しないこと。
- (6) 本剤の使用に当たっては、使用量、使用時期、使用方法を誤らないように注意し、特に初めて使用する場合は、病虫害防除所等関係機関の指導を受けることが望ましい。

適用内容等の製品情報はこちら [\(農薬製品・安全データシート \(SDS\) 一覧\)](#) からご参照下さい。

以上